

令和 5 年 6 月 19 日現在

機関番号：82401

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H05503

研究課題名（和文）ユビキチン機能制御のためのケミカルバイオロジー

研究課題名（英文）Chemical biology for controlling ubiquitin function

研究代表者

吉田 稔（Yoshida, Minoru）

国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター・グループディレクター

研究者番号：80191617

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 134,800,000円

研究成果の概要（和文）：ユビキチンデコーダーやシャトル分子と強く結合し、それらの機能を修飾する新たな化学プローブを開発するための細胞内相互作用解析法の確立を行った。スプリットルシフェラーゼ、化合物アレイ、マイクロスケール熱泳動、TR-FRET法などを駆使し、ユビキチンデコーダー相互作用阻害剤、嚢胞性線維症関連E3ユビキチンリガーゼRFFLやRNF5の新規リガンドなどを発見した。また、アクロレインと効率よく反応する分子を開発し、がん細胞特異的に細胞内タンパク質ユビキチン化を誘導するプローブを開発した。さらに、スプライシングエラー時にイントロン由来の凝集性タンパク質の発現を抑制する品質管理機構の詳細を解明した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

タンパク質ユビキチン化は、プロテアソームによるタンパク質分解のみならず、多様なタンパク質機能制御機構であることがわかってきた。この多様な機能を生み出す基盤は、ユビキチン修飾の構造多様性と相互作用する分子の多様性にあるが、その複雑性ゆえに全体像を理解するのは困難であった。本研究では、化学的アプローチにより個々の役割を理解し、疾患のメカニズム解明や治療法の開拓に資する幾つかの化合物を同定することに成功した。また、イントロン配列由来のタンパク質がユビキチン化されて凝集体を造ること、その生産を抑制する品質管理機構の存在も明らかになり、スプライシングとユビキチン修飾系という新たな研究領域が開拓された。

研究成果の概要（英文）：We have established various cellular interaction analysis methods to develop new chemical probes that bind strongly to ubiquitin decoders and shuttle molecules and modulate their functions. Using split-luciferase, chemical arrays, microscale thermophoresis, and TR-FRET methods, we have discovered inhibitors of ubiquitin-decoder interactions and novel ligands for cystic fibrosis-related E3 ubiquitin ligases RFFL and RNF5. We also developed a probe that induces cancer cell-specific ubiquitination of intracellular proteins using a molecule that efficiently reacts with acrolein, which is overproduced in cancer. Furthermore, we have elucidated a novel quality control mechanism that suppresses the expression of aggregation-prone proteins translated from intron-derived sequences resulting from splicing errors.

研究分野：応用生物化学

キーワード：ユビキチンリガーゼ ユビキチン化誘導キメラ分子 リガンド化合物 化合物アレイ

1. 研究開始当初の背景

エネルギー依存的なタンパク質分解シグナルと考えられてきたユビキチン化は、近年、より多様な機能を有し、ユビキチンコードとも呼ばれるタンパク質の機能変換機構であることが示されてきた。膜タンパク質のエンドサイトーシス、シグナル伝達、DNA 修復、ユビキチン選択的オートファジーなど様々な細胞機能を制御することが明らかになり、ユビキチン修飾系による細胞機能制御の重要性は広く認識されるに至っているものの、その複雑性ゆえに全体像の理解にはほど遠いのが現状である。近年、分子生物学的手法の1つとしてデグロン(タンパク質分解を誘導する配列)を導入し、タンパク質発現を抑制する方法が注目を集めている。しかし、デグロン配列を事前に標的タンパク質に導入しておく必要があり、内在性タンパク質には適用できないという欠点があった。それに対し、最近ユビキチンリガーゼと基質タンパク質の両者を結合させるキメラ化合物によって本来の基質以外のタンパク質を分解する技術が開発された。すなわち、特定のユビキチンリガーゼに結合する小分子と、それらを別の基質に結合する化合物をドッキングすると、リガンドに結合するタンパク質にユビキチンリガーゼがリクルートされてその基質となり、迅速に分解されることが報告された。SNIPER あるいは PROTACs と呼ばれるこの手法は、内在性タンパク質のノックダウン法として注目されるとともに、疾患原因タンパク質の分解を誘導する新たな創薬手法として注目されている。しかし、この手法を拡張するためには、各種ユビキチンリガーゼや標的タンパク質に特異的に結合するリガンド分子を探索、同定する必要があった。

2. 研究の目的

タンパク質ユビキチン化は、プロテアソームによるタンパク質分解のみならず、当初の想定を大きく超える多様なタンパク質機能制御機構であることがわかってきた。この多様な機能を生み出す基盤は、ユビキチン修飾の構造多様性と相互作用する分子(デコーダー)の多様性にある。その複雑性ゆえに全体像を理解するためには、従来の方法では限界があった。本新学術領域研究では、化学的アプローチ(ケモテクノロジー)を駆使して、ユビキチン修飾系を理解し、操作する新たな方法論を開拓しようとしており、本研究領域はその基盤となるツール開発を目的とするものである。中でも本研究は、SNIPER あるいは PROTACs と呼ばれるキメラ化合物によりユビキチンリガーゼをハイジャックすることで本来の標的分子以外の基質タンパク質(ネオ基質)を分解誘導する技術を発展させ、ユビキチンやデコーダー分子の特定の機能を瞬時に喪失させることが可能な分子プローブを創出し、ユビキチンの機能解析のためのツールを開発することを目的とする。さらに、ユビキチン鎖とそれを認識するデコーダー分子との間の相互作用を阻害する分子プローブの発見を目指す。

3. 研究の方法

上記目的を達成するためには、膨大な化合物ライブラリーと標的タンパク質との相互作用をスクリーニングする必要があることから、本計画を広範囲に実施することは大きな困難が伴うと考えられてきた。本研究では、構造多様性に富んだ天然物とその誘導体約2万化合物をスポットした独自の化合物アレイを用いて特定のユビキチンリガーゼと結合する分子弾頭や標的ネオ基質を認識する分子リガンドの高速スクリーニングを行う。また、スクリーニングによって得られた分子弾頭と分子リガンドをドッキングして新たなプローブを合成するためには、クリック反応が有効であるが、標的タンパク質との相互作用を妨げないような官能基を選択する必要がある。そこで各種官能基にアジドまたはアルキンを導入する技術に加え、不活性 C-H 結合を活性化して官能基化する技術を確認し、これらを用いて効率よく PROTACs 候補化合物の合成を実施する。また、特定のデコーダー分子に結合し、ユビキチン鎖との結合を阻害する化合物を開発するため、TR-FRET、ALPHA、分泌型スプリットルシフェラーゼなど、タンパク質間相互作用解析技術を用いた高速スクリーニング法を活用して候補化合物を探索する。

4. 研究成果

(1) ユビキチンケモテクノロジーのためのハイスループット相互作用解析法の確立と阻害剤探索

ユビキチンデコーダーやシャトル分子と強く結合し、それらの機能を修飾する新たな化学プローブを開発するための細胞内相互作用解析法の確立を行った。標的とするユビキチン関連因子は、特定のタンパク質との相互作用をするため、それらを生細胞で検出する方法として分泌型ルシフェラーゼを分割したスプリット型ルシフェラーゼ法を構築した。実際には、ヒトでの発現にコドン最適化したガウシアルシフェラーゼを分割し、相互作用するペアのタンパク質を融合させて細胞外に高いルシフェラーゼが検出できる組合せを選択することで簡便な相互作用解析を確立した。また、細胞外に分泌されたルシフェラーゼ活性を測るとともに残った生細胞については化合物による細胞毒性を測定することにより非特異的な抑制剤の排除が可能となる。この方法を用いて、領域内の多くの研究者と共同研究を実施し、数多くのヒット化合物を得た。また、

試験管内での相互作用をハイスループットに解析する方法として TR-FRET 法を適用し、直接的な相互作用阻害剤の探索を行い、阻害剤の同定につながった(岩井班との共同研究、Blood 2020)。

(2) 嚢胞性線維症関連 E3 リガーゼに対する低分子リガンドの開発

嚢胞性線維症 (Cystic Fibrosis, CF) は白色人種間で頻度が高い単一遺伝病であり、その原因は上皮細胞の塩素イオンチャネル CFTR (Cystic Fibrosis Transmembrane conductance Regulator) の遺伝子変異である。CF の大部分 (9 割) で見られる $\Delta F508$ 変異は、CFTR タンパク質のフォールディング異常を引き起こす結果、形質膜の CFTR 発現及び機能が低下し CF を引き起こす。形質膜上の $\Delta F508$ -CFTR の分解にはさまざまな E3 ユビキチンリガーゼが関与している。このような E3 リガーゼを標的とした低分子リガンドは、嚢胞性線維症の治療薬開発や新たなタンパク質分解誘導剤の創製につながる。そこで、CF 関連 E3 リガーゼ (RFFL、RNF5、RNF185、gp78、Hrd1) に対する低分子リガンドを化合物アレイスクリーニングにより探索した。その結果、それぞれの E3 リガーゼに対してヒット化合物を得た。特に、RFFL のヒット化合物については、類縁体評価を進め、分子間相互作用がおおよそ 50 倍強くなった誘導体を見出した。また、RNF5 に対するヒット化合物については、構造活性相関を明らかにした後、各種 Halo リガンド連結化合物を合成して、活性評価を進めている (沖米田班との共同研究)。

(3) ヒストン脱アセチル化酵素 SIRT2 を標的とする新規 PROTAC の開発

がんや神経疾患などに関与するヒストン脱アセチル化酵素 SIRT2 を分解標的とするため、各種 E3 ユビキチンリガーゼ結合分子と我々が独自に開発した強力な SIRT2 阻害剤とのキメラ化合物を組織的に合成したところ、セレブロン結合分子とのキメラにおいて強力な SIRT2 分解活性を示す化合物の取得に成功した。本キメラ化合物はナノモルレベルの低濃度で細胞内 SIRT2 の分解を誘導する一方、高濃度では分解活性が失われるフック効果が認められた。

(4) がん細胞特異的な細胞内ユビキチン化反応誘導プローブの開発

特定のタンパク質に限らず、がん細胞内のあらゆるタンパク質を分解することができれば、より効果の高い治療法を開発できるのではないかと考えられる。我々は、フェニルアジド分子が、細胞内代謝物の 1 つアクロレインと効率よく反応することを見だし、中間体であるジアゾ化合物とタンパク質上の求核性アミノ酸残基が結合することを発見した。アクロレインは乳癌を含む多様ながん細胞で高生産されていることが示されている。そこで、がん細胞内で選択的な有機反応を起こして、がん細胞特異的に細胞内タンパク質をユビキチン化する新規プローブを開発することに成功した。

(5) スプライシングエラー時のユビキチン化を介した品質管理機構の解析

近年、スプライシング異常と疾患の関連が明らかになりつつあり、スプライシングエラーによって生成されるイントロン配列由来のタンパク質に注目が集まっている。そこで本研究では、スプライシング因子 SF3B に直接結合してスプライシングを調節するスプライソスタチン A を用いてどのような遺伝子のイントロン配列がタンパク質に翻訳されるかをリボソームプロファイリングとクリック反応を利用した新生タンパク質質量分析を組み合わせて解析した。その結果、約 1,000 種類のイントロン配列の翻訳が観察され、その一部は細胞内に凝集体として蓄積した。それらはユビキチンを含むアグリソームを形成し、そのタンパク質毒性ストレスによりストレス応答性 MAPK である JNK の活性化が観察された。さらに JNK によるリン酸化の結果、mTORC1 活性の抑制が引き起こされ、翻訳抑制が観察された。以上の結果から異常なイントロン配列の翻訳はタンパク質凝集体を形成して毒性を発揮するが、それを緩和する細胞内応答として異常タンパク質の翻訳を抑制するフィードバック機構が存在することが明らかになった。このことは、細胞にはスプライシングエラーを関知して翻訳を厳密に制御するシステムが備わっていることを示唆する (Cell Chem Biol 2022)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計78件（うち査読付論文 74件 / うち国際共著 23件 / うちオープンアクセス 29件）

1. 著者名 A. Kubo, T. Tanei, A. R. Pradipta, K. Morimoto, M. Fujii, Y. Sota, T. Miyake, N. Kagara, M. Shimoda, Y. Naoi, Y. Motoyama, E. Morii, K. Tanaka, K. Shimazu	4. 巻 -
2. 論文標題 Comparison of "click-to-sense" assay with frozen section analysis using simulated surgical margins in breast cancer patients	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Eur. J. Surg. Oncol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ejso.2022.04.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 A. R. Pradipta, H. Michiba, A. Kubo, M. Fujii, T. Tanei, K. Morimoto, K. Shimazu, K. Tanaka	4. 巻 95
2. 論文標題 The second-generation click-to-sense probe for intraoperative diagnosis of breast cancer tissues based on acrolein targeting	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Bull. Chem. Soc. Jpn.	6. 最初と最後の頁 421-426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1246/bcsj.20210387	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 R. Kunitomi, A. R. Pradipta, H. Kawabe, N. Lobsiger, K. Tanaka, T. Zako	4. 巻 46
2. 論文標題 Inhibition of amyloid formation of amyloid (1-42), amylin and insulin by 1,5-diazacyclooctanes, as spermine-acrolein conjugate	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 116391
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2021.116391	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Nagashima S, Maruyama J, Honda K, Kondoh Y, Osada H, Nawa M, Nakahama KI, Ishigami-Yuasa M, Kagechika H, Sugimura H, Iwasa H, Arimoto-Matsuzaki K, Nishina H, Hata Y	4. 巻 297
2. 論文標題 CSE1L promotes nuclear accumulation of transcriptional coactivator TAZ and enhances invasiveness of human cancer cells.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 100803
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jbc.2021.100803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida K, Kondoh Y, Nakano T, Bolortuya B, Kawabata S, Iwahashi F, Nagano E, Osada H	4. 巻 16
2. 論文標題 New abscisic acid derivatives revealed adequate regulation of stomatal, transcriptional, and developmental responses to conquer drought.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 1566-1575
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.1c00451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayama KI, Honma T, Suzuki T, Kondoh Y, Osada H, Suzuki Y, Yoshida M, Inoue S	4. 巻 81
2. 論文標題 Targeting epigenetic and posttranscriptional gene regulation by PSF impairs hormone therapy-refractory cancer growth.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Research	6. 最初と最後の頁 3495-3508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1158/0008-5472.CAN-20-3819	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakatani K, Maehama T, Nishio M, Otani J, Yamaguchi K, Fukumoto M, Hikasa H, Hagiwara S, Nishina H, Mak TW, Honma T, Kondoh Y, Osada H, Yoshida M, Suzuki A	4. 巻 112
2. 論文標題 Alantolactone is a natural product that potently inhibits YAP1/TAZ through promotion of reactive oxygen species accumulation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cancer Science	6. 最初と最後の頁 4303-4316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.15079	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakamoto T, Fukui Y, Kondoh Y, Honda K, Shimizu T, Hara T, Hayashi T, Saitoh Y, Murakami Y, Inoue J, Kaneko S, Osada H, Seiki M	4. 巻 4
2. 論文標題 Pharmacological inhibition of Mint3 attenuates tumour growth, metastasis, and endotoxic shock.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 1165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-021-02701-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moon JY, Adams E, Miyazaki T, Kondoh Y, Muroi M, Watanabe N, Osada H, Shin R	4. 巻 26
2. 論文標題 A cesium tolerance-enhancing chemical promotes cesium tolerance in Arabidopsis thaliana by interacting with BETA-GLUCOSIDASE 23.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 21109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-00564-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida J, Ohishi T, Abe H, Ohba S, Inoue H, Usami I, Amemiya M, Oriez R, Sakashita C, Dan S, Sugawara M, Kawaguchi T, Ueno J, Asano Y, Ikeda A, Takamatsu M, Amori G, Kondoh Y, Honda K, Osada H, Noda T, Watanabe T, Shimizu T, Shibasaki M, Kawada M	4. 巻 24
2. 論文標題 Mitochondrial complex I inhibitors suppress tumor growth through concomitant acidification of the intra- and extracellular environment.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 103497
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2021.103497	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshioka H, Kawamura T, Muroi M, Kondoh Y, Honda K, Kawatani M, Aono H, Waldmann H, Watanabe N, Osada H.	4. 巻 17
2. 論文標題 Identification of a small molecule that enhances ferroptosis via inhibition of FSP1.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 483-491
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.2c00028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jagat K. Chhipi-Shrestha, Tilman Schneider-Poetsch, Takehiro Suzuki, Mari Mito, Khalid Khan, Naoshi Dohmae, Shintaro Iwasaki, and Minoru Yoshida	4. 巻 29
2. 論文標題 Splicing modulators elicit global translational repression by condensate-prone proteins translated from introns.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 259-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2021.07.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hamid Safizadeh, Scott W. Simpkins, Justin Nelson, Sheena C. Li, Jeff S. Piotrowski, Mami Yoshimura, Yoko Yashiroda, Hiroyuki Hirano, Hiroyuki Osada, Minoru Yoshida, Charles Boone, and Chad L. Myers	4. 巻 61
2. 論文標題 Improving Measures of Chemical Structural Similarity Using Machine Learning on Chemical-Genetic Interactions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of chemical information and modeling	6. 最初と最後の頁 4156-4172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jcim.0c00993	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshiki Asai, Tomoshige Hiratsuka, Miyu Ueda, Yumi Kawamura, Shumpei Asamizu, Hiroyasu Onaka, Manabu Arioka, Shinichi Nishimura, and Minoru Yoshida	4. 巻 17
2. 論文標題 Differential biosynthesis and roles of two ferrichrome-type siderophores, ASP2397/AS2488053 and ferricrocin, in Acremonium persicinum.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACS Chem. Biol.	6. 最初と最後の頁 207_216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.1c00867	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schneider-Poetsch Tilman, Chhipi-Shrestha Krishna Jag at, Yoshida Minoru	4. 巻 74
2. 論文標題 Splicing modulators: on the way from nature to clinic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JOURNAL OF ANTIBIOTICS	6. 最初と最後の頁 603_616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41429-021-00450-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林大貴、吉田稔	4. 巻 39
2. 論文標題 機能低下したミトコンドリアを活性化させる化合物の発見	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 954-957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林大貴、吉田稔	4. 巻 3
2. 論文標題 ケミカルバイオロジーによる新たなミトコンドリア病創薬標的候補の発見	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ケモテクノロジーが拓くユビキチンニューフロンティア ニュースレター	6. 最初と最後の頁 37-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimoto, R., Chhipi-Shrestha, J.K., Schneider-Poetsch, T., Furuno, M., Burroughs, A.M., Noma, S., Suzuki, H., Hayashizaki, Y., Mayeda, A., Nakagawa, S., Kaida, D., Iwasaki, S., Yoshida, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Spliceostatin A interaction with SF3B1 limits U1 snRNP availability and causes premature cleavage and polyadenylation.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Cell Chem. Biol.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chembiol.2021.03.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nielsen, A. L., Rajabi, N., Kudo, N., Lundo, K., Moreno-Yruela, C., Baek, M., Fontenas, M., Lucidi, A., Madsen, A. S., Yoshida, M., Olsen, C. A.	4. 巻 2(2)
2. 論文標題 Mechanism-based inhibitors of SIRT2: structure-activity relationship, X-ray structures, target engagement, regulation of α -tubulin acetylation and inhibition of breast cancer cell migration.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 RSC Chem. Biol.	6. 最初と最後の頁 612-626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/DOCB00036A	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi, H., Hatakeyama, H., Nishimura, H., Yokota, M., Suzuki, S., Tomabechi, Y., Shirouzu, M., Osada, H., Mimaki, M., Goto, Y., Yoshida, M.	4. 巻 17(3)
2. 論文標題 Chemical reversal of abnormalities in cells carrying mitochondrial DNA mutations.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nat. Chem. Biol.	6. 最初と最後の頁 335-343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41589-020-00676-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chhipi-Shrestha, J.K., Schneider-Poetsch, T., Suzuki, T., Mito, M., Khan, K., Dohmae, N., Iwasaki, S., and Yoshida, M.	4. 巻 -
2. 論文標題 Splicing modulators elicit global translational repression by condensate-prone proteins translated from introns.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 bioRxiv,	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2020.11.23.393835	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Han, P., Shichino, Y., Schneider-Poetsch, T., Mito, M., Hashimoto, S., Udagawa, T., Kohno, K., Yoshida, M., Mishima, Y., Inada, T., Iwasaki, S.	4. 巻 31(5)
2. 論文標題 Genome-wide survey of ribosome collision.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cell Rep.	6. 最初と最後の頁 107610
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.celrep.2020.107610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Xiang, L., Wu, Q., Osada, H., Yoshida, M., Pan, W., Qi, J.	4. 巻 12(14)
2. 論文標題 Peanut skin extract ameliorates the symptoms of type 2 diabetes mellitus in mice by alleviating inflammation and maintaining gut microbiota homeostasis.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Aging (Albany NY)	6. 最初と最後の頁 13991-14018
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/aging.103521	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi, H., Nishimura, H., Kudo, N., Osada, H., Yoshida, M.	4. 巻 84(10)
2. 論文標題 A novel GSK3 inhibitor that promotes self-renewal in mouse embryonic stem cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Biosci. Biotechnol. Biochem.	6. 最初と最後の頁 2113-2120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2020.1789445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Jo, T., Nishikori, M., Kogure, Y., Arima, H., Sasaki, K., Sasaki, Y., Nakagawa, T., Iwai, F., Momose, S., Shiraiishi, A., Kiyonari, H., Kagaya, N., Onuki, T., Shin-Ya, K., Yoshida, M., Kataoka, K., Ogawa, S., Iwai, K., Takaori-Kondo, A.	4. 巻 136(6)
2. 論文標題 LUBAC accelerates B-cell lymphomagenesis by conferring resistance to genotoxic stress on B cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Blood	6. 最初と最後の頁 684-697
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1182/blood.2019002654	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林大貴、吉田稔	4. 巻 39(6)
2. 論文標題 機能低下したミトコンドリアを活性化させる化合物の発見.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 実験医学	6. 最初と最後の頁 954-957
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 住吉孝明、平中誠弥、出口芳春、伊藤昭博、吉田稔	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 血液脳関門透過性を有するヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の探索.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 MEDCHEM NEWS	6. 最初と最後の頁 43-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pradipta, A. R., Ahmadi, P., Terashima, K., Muguruma, K., Fujii, M., Ichino, T., Maeda, S., Tanaka, K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Targeted 1,3-dipolar cycloaddition with acrolein for cancer prodrug activation	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chem. Sci.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/D0SC06083F	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Smirnov, I., Sibgatullina, R., Urano, S., Tahara, T., Ahmadi, P., Watanabe, Y., Pradipta, A. R., Kurbangalieva, A., Tanaka, K.	4. 巻 16
2. 論文標題 A strategy for tumor targeting by higher-order glycan pattern recognition: Synthesis and in vitro and in vivo properties of glycoalbumins conjugated with four different N-glycan molecules	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Small	6. 最初と最後の頁 2004831
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/smll.202004831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pradipta, A. R., Tanaka, K.	4. 巻 21
2. 論文標題 Application of acrolein imines to organic synthesis, biofunctional studies, and clinical practice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chem. Rec.	6. 最初と最後の頁 646-662
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tcr.202000146	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Muguruma, K., Pradipta, A. R., Ode, Y., Terashima, K., Michiba, H., Fujii, M., Tanaka, K.	4. 巻 28
2. 論文標題 Disease-associated acrolein: A possible diagnostic and therapeutic substrate for in vivo synthetic chemistry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 115831
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2020.115831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pradipta, A. R., Tanaka, K.	4. 巻 3
2. 論文標題 Methods for acrolein detection: Recent advances and applications	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Idn. Chem. Soc.	6. 最初と最後の頁 73-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34311/jics.2020.03.2.73	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chang, T. C., Pradipta, A. R., Tanaka, K.	4. 巻 32
2. 論文標題 Enantioselective synthesis of cyclic and linear diamines by iminocycloaddition	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Chirality	6. 最初と最後の頁 1160-1168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chir.23265	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawamura, T., Futamura, Y., Shang, E., Muroi, M., Janning, P., Ueno, M., Wilke, J., Takeda, S., Kondoh, Y., Ziegler, S., Watanabe, N., Waldmann, H., Osada, H.	4. 巻 84
2. 論文標題 Discovery of small-molecule modulator of heterotrimeric G i-protein by integrated phenotypic profiling and chemical proteomics.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Bioscience Biotechnology and Biochemistry	6. 最初と最後の頁 2484-2490
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2020.1812375	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fujita, K., Kondoh, Y., Honda, K., Haga, Y., Osada, H., Matsumura, C., Inui, H.	4. 巻 266
2. 論文標題 Pesticide treatment reduces hydrophobic pollutant contamination in Cucurbita pepo through competitive binding to major latex-like proteins.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Environmental Pollution	6. 最初と最後の頁 115179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.envpol.2020.115179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sophonnithiprasert, T., Aruksakunwong, O., Tashiro, E., Kondoh, Y., Muroi, M., Osada, H., Imoto, M., Watanapokasin, R.	4. 巻 6
2. 論文標題 Interaction between goniotalamin and peroxisomal multifunctional enzyme type 2 triggering endoplasmic reticulum stress.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Heliyon	6. 最初と最後の頁 e05200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.heliyon.2020.e05200	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikeda, H., Muroi, M., Kondoh, Y., Ishikawa, S., Kakeya, H., Osada, H., Imoto, M.	4. 巻 15
2. 論文標題 Miclxin, a novel MIC60 inhibitor, induces apoptosis via mitochondrial stress in β -catenin mutant tumor cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 2195-2204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.0c00381	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sako, K., Futamura, Y., Shimizu, T., Matsui, A., Hirano, H., Kondoh, Y., Muroi, M., Aono, H., Tanaka, M., Honda, K., Shimizu, K., Kawatani, M., Nakano, T., Osada, H., Noguchi, K., Seki, M.	4. 巻 10
2. 論文標題 Inhibition of mitochondrial complex I by the novel compound FSL0260 enhances high salinity-stress tolerance in <i>Arabidopsis thaliana</i> .	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8691
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-65614-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takase, S., Kurokawa, R., Kondoh, Y., Honda, K., Suzuki, T., Kawahara, T., Ikeda, H., Dohmae, N., Osada, H., Shin-Ya, K., Kushiro, T., Yoshida, M., Matsumoto, K.	4. 巻 14(8)
2. 論文標題 Mechanism of action of prethioviridamide, an anticancer ribosomally synthesized and post-translationally modified peptide with a polythioamide structure.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Chem. Biol.	6. 最初と最後の頁 1819-1828
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.9b00410.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsui, E., Yoshida, S., Shinoda, Y., Matsumori, Y., Tsujii, H., Tsuchida, M., Wada, S., Hasegawa, M., Ito, A., Mino, K., Onuki, T., Yoshida, M., Sasaki, R., Mizukami, T.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Identification of ryuidine as a KDM5A inhibitor.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 9952
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46346-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ling, F., Bradshaw, E., Yoshida, M.	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 Prevention of mitochondrial genomic instability in yeast by the mitochondrial recombinase Mhr1.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sci. Rep.	6. 最初と最後の頁 5433
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-41699-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nomura, Y., Thuaud, F., Sekine, D., Ito, A., Maeda, S., Koshino, H., Hashizume, D., Muranaka, A., Cruchter, T., Uchiyama, M., Ichikawa, S., Matsuda, A., Yoshida, M., Hirai, G., Sodeoka, M.	4. 巻 25(35)
2. 論文標題 Synthesis of all stereoisomers of monomeric spectomycin A1/A2 and evaluation of their protein SUMOylation-inhibitory activity.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chemistry	6. 最初と最後の頁 8387-8392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/chem.201901093.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shirai, F., Tsumura, T., Yashiroda, Y., et al. (30人中29番目)	4. 巻 62(7)
2. 論文標題 Discovery of novel spiroindoline derivatives as selective tankyrase inhibitors.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 3407-3427
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.jmedchem.8b01888.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Murashima, A., Shinjo, K., Katsushima, K., Onuki, T., Kondoh, Y., Osada, H., Kagaya, N., Shin-Ya, K., Kimura, H., Yoshida, M., Murakami, S., Kondo, Y.	4. 巻 166(1)
2. 論文標題 Identification of a chemical modulator of EZH2-mediated silencing by cell-based high-throughput screening assay.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J. Biochem.	6. 最初と最後の頁 41-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/jb/mvz007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna, K., Honda, K., Muroi, M., Kondoh, Y., Watanabe, N., Osada, H.	4. 巻 10
2. 論文標題 Identification of Target Protein for Bio-active Small Molecule Using Photo-cross Linked Beads and MALDI-TOF Mass Spectrometry	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BIO-PROTOCOL	6. 最初と最後の頁 e3517
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.3517	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna, K., Honda, K., Muroi, M., Kondoh, Y., Osada, H., Watanabe, N.	4. 巻 10
2. 論文標題 Measurement of ATPase Activity of Valosin-containing Protein/p97	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BIO-PROTOCOL	6. 最初と最後の頁 e3516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21769/BioProtoc.3516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshida, K., Kondoh, Y., Iwahashi, F., Nakano, T., Honda, K., Nagano, E., Osada, H.	4. 巻 14
2. 論文標題 Abscisic Acid Derivatives with Different Alkyl Chain Lengths Activate Distinct Abscisic Acid Receptor Subfamilies	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ACS Chemical Biology	6. 最初と最後の頁 1964 ~ 1971
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acscchembio.9b00453	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shu, K., Iwamoto, N., Honda, K., Kondoh, Y., Hirano, H., Osada, H., Ohno, H., Fujii, N., Oishi, S.	4. 巻 30
2. 論文標題 Development of Mirror-Image Screening Systems for XIAP BIR3 Domain Inhibitors	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioconjugate Chemistry	6. 最初と最後の頁 1395 ~ 1404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acs.bioconjchem.9b00154	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pradipta, A. R., Tanei, T., Morimoto, K., Shimazu, K., Noguchi, S., Tanaka, K.	4. 巻 7
2. 論文標題 Emerging technologies for real-time intraoperative margin assessment in future breast-conserving surgery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Adv. Sci.	6. 最初と最後の頁 1901519
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/advs.201901519	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lodochnikova, O. A., Chulakova, D. R., Gerasimova, D. P., Litvinov, I. A., Pradipta, A. R., Tanaka, K., Kurbangalieva, A. R.	4. 巻 61
2. 論文標題 Stereochemical features of the crystallization of eight-membered 1,5-diazaheterocycles with chiral aminoindanol fragments at nitrogen atoms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 J. Struct. Chem.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26902/JSC_id49649	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Chulakova, D. R., Pradipta, A. R., Lodochnikova, O. A., Kuznetsov, D. R., Bulygina, K. S., Smirnov, I. S., Usachev, K. S., Latypova, L. Z., Kurbangalieva, A. R., Tanaka, K.	4. 巻 14
2. 論文標題 Facile access to optically active 2,6-dialkyl-1,5-diazacyclooctanes	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Chem. Asian J.	6. 最初と最後の頁 4048-4054
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/asia.201900938	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinohara, H., Yasue, N., Onuki, T., Yoshida, M., Matsubayashi, Y.	4. 巻 2
2. 論文標題 Screening and identification of a non-peptide antagonist for the peptide hormone receptor in Arabidopsis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Commun. Biol. Commun Biol.	6. 最初と最後の頁 61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-019-0307-8. eCollection 2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Simpkins SW, Deshpande R, Nelson J, Li SC, Piotrowski JS, Ward HN, Yashiroda Y, Osada H, Yoshida M, Boone C, Myers CL.	4. 巻 14(2)
2. 論文標題 Using BEAN-counter to quantify genetic interactions from multiplexed barcode sequencing experiments.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nat Protoc.	6. 最初と最後の頁 415-440
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41596-018-0099-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Cornelio K, Espiritu RA, Hanashima S, Todokoro Y, Malabed R, Kinoshita M, Matsumori N, Murata M, Nishimura S, Kakeya H, Yoshida M, Matsunaga S.	4. 巻 1861(1)
2. 論文標題 Theonellamide A, a marine-sponge-derived bicyclic peptide, binds to cholesterol in aqueous DMSO: Solution NMR-based analysis of peptide-sterol interactions using hydroxylated sterol.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biochim Biophys Acta Biomembr.	6. 最初と最後の頁 228-235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbamem.2018.07.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yoshida M.	4. 巻 83(1)
2. 論文標題 Recent advances in target identification of bioactive natural products.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Biosci Biotechnol Biochem.	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2018.1533804	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Robaa D, Monaldi D, Wossner N, Kudo N, Rumpf T, Schiedel M, Yoshida M, Jung M.	4. 巻 18(12)
2. 論文標題 Opening the selectivity pocket in the human lysine deacetylase sirtuin2 - new opportunities, new questions.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem Rec.	6. 最初と最後の頁 1701-1707
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/tcr.201800044	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizutani A, Yashiroda Y, Muramatsu Y, Yoshida H, Chikada T, Tsumura T, Okue M, Shirai F, Fukami T, Yoshida M, Seimiya H.	4. 巻 109(12)
2. 論文標題 RK-287107, a potent and specific tankyrase inhibitor, blocks colorectal cancer cell growth in a preclinical model.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 4003-4014
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13805	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tanei T, Pradipta AR, Morimoto K, Fujii M, Arata M, Ito A, Yoshida M, Saigitbatalova E, Kurbangalieva A, Ikeda JI, Morii E, Noguchi S, Tanaka K.	4. 巻 6
2. 論文標題 Cascade reaction in human live tissue allows clinically applicable diagnosis of breast cancer morphology.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Adv. Sci.	6. 最初と最後の頁 1801479
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/advs.201801479	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Simpkins SW, Nelson J, Deshpande R, Li SC, Piotrowski JS, Wilson EH, Gebre AA, Safizadeh H, Okamoto R, Yoshimura M, Costanzo M, Yashiroda Y, Ohya Y, Osada H, Yoshida M, Boone C, Myers CL.	4. 巻 14(10)
2. 論文標題 Predicting bioprocess targets of chemical compounds through integration of chemical-genetic and genetic interactions.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PloS Comput Biol.	6. 最初と最後の頁 e1006532
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pcbi.1006532	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Furuta H, Yoshihara H, Fukushima T, Yoneyama Y, Ito A, Worrall C, Girnita A, Girnita L, Yoshida M, Asano T, Komada M, Kataoka N, Chida K, Hakuno F, Takahashi SI.	4. 巻 9(74)
2. 論文標題 IRS-2 deubiquitination by USP9X maintains anchorage-independent cell growth via Erk1/2 activation in prostate carcinoma cell line.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget.	6. 最初と最後の頁 33871-33883
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.26049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hiranaka S, Tega Y, Higuchi K, Kurosawa T, Deguchi Y, Arata M, Ito A, Yoshida M, Nagaoka Y, Sumiyoshi T.	4. 巻 9(9)
2. 論文標題 Design, Synthesis, and Blood-Brain Barrier Transport Study of Ppyrilamine Derivatives as Histone Deacetylase Inhibitors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ACS Med Chem Lett.	6. 最初と最後の頁 884-888
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1021/acsmchemlett.8b00099	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sohtome Y, Shimazu T, Barjau J, Fujishiro S, Akakabe M, Terayama N, Dodo K, Ito A, Yoshida M, Shinkai Y, Sodeoka M.	4. 巻 54(66)
2. 論文標題 Unveiling epidithiodiketopiperazine as a non-histone arginine methyltransferase inhibitor by chemical protein methylome analyses.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Chem Commun (Camb)	6. 最初と最後の頁 9202-9205
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1039/c8cc03907k	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hirano T, Fujiwara T, Niwa H, Hirano M, Ohira K, Okazaki Y, Sato S, Umehara T, Maemoto Y, Ito A, Yoshida M, Kagechika H.	4. 巻 13(15)
2. 論文標題 Development of novel inhibitors for histone methyltransferase SET7/9 based on cyproheptadine.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ChemMedChem.	6. 最初と最後の頁 1530-1540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cmdc.201800233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Schneider-Poetsch T, Yoshida M.	4. 巻 87
2. 論文標題 Along the central dogma-controlling gene expression with small molecules.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Annu Rev Biochem.	6. 最初と最後の頁 391-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1146/annurev-biochem-060614-033923	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kudo N, Ito A, Arata M, Nakata A, Yoshida M.	4. 巻 373(1748)
2. 論文標題 Identification of a novel small molecule that inhibits deacetylase but not defatty-acylase reaction catalysed by SIRT2.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Philos Trans R Soc Lond B Biol Sci.	6. 最初と最後の頁 pii: 20170070
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1098/rstb.2017.0070	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto K, Kose S, Kuwahara I, Yoshimura M, Imamoto N, Yoshida M.	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Y-box protein-associated acidic protein (YBAP1/C1QB) affects the localization and cytoplasmic functions of YB-1.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 6198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24401-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanda K, Sakamoto J, Matsumoto Y, Ikuta K, Goto N, Morita Y, Ohno M, Nishi K, Eto K, Kimura Y, Nakanishi Y, Ikegami K, Yoshikawa T, Fukuda A, Kawada K, Sakai Y, Ito A, Yoshida M, Kimura T, Chiba T, Nishi E, Seno H.	4. 巻 3(8)
2. 論文標題 Nardilysin controls intestinal tumorigenesis through HDAC1/p53-dependent transcriptional regulation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 JCI Insight.	6. 最初と最後の頁 pii: 91316
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1172/jci.insight.91316	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuyama A, Shirai A, Yoshida M.	4. 巻 1721
2. 論文標題 Preparation of cell lysates of fission yeast for immunoprecipitation.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Methods Mol Biol.	6. 最初と最後の頁 125-133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-1-4939-7546-4_12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nelson J, Simpkins SW, Safizadeh H, Li SC, Piotrowski JS, Hirano H, Yashiroda Y, Osada H, Yoshida M, Boone C, Myers CL.	4. 巻 34(7)
2. 論文標題 MOSAIC: a chemical-genetic interaction data repository and web resource for exploring chemical modes of action.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Bioinformatics.	6. 最初と最後の頁 1251-1252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btx732	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nguyen HM, Sako K, Matsui A, Ueda M, Tanaka M, Ito A, Nishino N, Yoshida M, Seki M.	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Transcriptomic analysis of Arabidopsis thaliana plants treated with the Ky-9 and Ky-72 histone deacetylase inhibitors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Plant Signal Behav.	6. 最初と最後の頁 e1448333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15592324.2018.1448333	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamura F, Kudo N, Tomachi Y, Nakata A, Takemoto M, Ito A, Tabei H, Arai D, de Voogd N, Yoshida M, Nakao Y, Fusetani N.	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 Halistanol sulfates I and J, new SIRT1-3 inhibitory steroid sulfates from a marine sponge of the genus Halichondria.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Antibiot (Tokyo).	6. 最初と最後の頁 273-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/ja.2017.145	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Pradipta AR, Fujii M, Tanei T, Morimoto K, Shimazu K, Noguchi S, Tanaka K.	4. 巻 -
2. 論文標題 Tetramethylrhodamine is an essential scaffold of azide probe in detecting cellular acrolein	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bioorg. Med. Chem.	6. 最初と最後の頁 pii: S0968-0896
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bmc.2019.04.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Qi Y, Zhao X, Chen J, Pradipta AR, Wei J, Ruan H, Hsung RP, Tanaka K, Zhou L.	4. 巻 -
2. 論文標題 In vitro and in vivo cancer cell apoptosis triggered by competitive binding of Cinchona alkaloids to the RING domain of TRAF6	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Biosci. Biotechnol. Biochem.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/09168451.2018.1559030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakamoto Y, Pradipta AR, Mukai H, Zouda M, Watanabe Y, Kurbangalieva A, Ahmadi P, Manabe Y, Fukase K, Tanaka K.	4. 巻 19
2. 論文標題 Expanding the applicability of the metal labeling of biomolecules by the RIKEN click reaction: A case study with Gallium-68 positron emission tomography	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ChemBioChem	6. 最初と最後の頁 2055-2060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cbic.201800335	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pradipta AR, Latypova L, Chulakova D, Smirnov I, Kurbangalieva A, Tanaka K.	4. 巻 97
2. 論文標題 Cycloaddition reactions of N-alkyl-, -unsaturated imines: Facile preparation of azaheterocycles for synthesis and biological applications	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Heterocycles	6. 最初と最後の頁 668-685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3987/REV-18-SR(T)4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suvarna K, Honda K, Muroi M, Kondoh Y, Osada H, Watanabe N.	4. 巻 294
2. 論文標題 A small-molecule ligand of valosin-containing protein/p97 inhibits cancer cell-accelerated fibroblast migration	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Biological Chemistry	6. 最初と最後の頁 2988 ~ 2996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1074/jbc.RA118.004741	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kaneko M, Futamura Y, Tsukuda S, Kondoh Y, Sekine T, Hirano H, Fukano K, Ohashi H, Saso W, Morishita R, Matsunaga S, Kawai F, Ryo A, Park S-Y, Suzuki R, Aizaki H, Ohtani N, Sureau C, Wakita T, Osada H, Watashi K.	4. 巻 8
2. 論文標題 Chemical array system, a platform to identify novel hepatitis B virus entry inhibitors targeting sodium taurocholate cotransporting polypeptide	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 2769
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-20987-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suvarna K, Honda K, Kondoh Y, Osada H, Watanabe N.	4. 巻 7
2. 論文標題 Identification of a small-molecule ligand of -arrestin1 as an inhibitor of stromal fibroblast cell migration accelerated by cancer cells	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cancer Medicine	6. 最初と最後の頁 883 ~ 893
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.1339	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計111件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 26件)

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 Reactivity of Endogenous Acrolein: Application for Cancer-Specific Ubiquitination
3. 学会等名 新学術領域「ケモユビキチン」第6回総括班会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta, P. Ahmadi, K. Terashima, M. Fujii, K. Tanaka
2. 発表標題 がん代謝物との環化付加反応によるがん化学療法
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta, K. Tanaka
2. 発表標題 がん代謝物との反応を基盤とするプロドラッグ法
3. 学会等名 第79回有機合成化学協会関東支部大岡山シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 Thriving in Your Research Career: My Personal Experience - Hints & Tip
3. 学会等名 第12回 Tokyo Tech Indonesian Commitment Award 2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 Add Perseverance to Your Passion: The Long and Rocky Academia Pathway
3. 学会等名 第11回 CSJ化学フェスタ 2021
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用
3. 学会等名 Departemental Talk Kyushu University
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用
3. 学会等名 専門基礎研究塾：有機化学分野
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用
3. 学会等名 物質理工学院研究紹介～ランチセッション～
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 A. R. Pradipta
2. 発表標題 がんが普遍的に過剰生産するアクロレイン代謝物：生組織でのカスケード反応によるがん診断・治療への応用
3. 学会等名 第8回慶應有機化学若手シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤本颯、近藤恭光、河村達郎、長谷純崇、井本正哉、長田裕之、榊原康文
2. 発表標題 次世代シークエンサーを用いた低分子化合物と結合する非コードRNAの網羅的探索
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高瀬翔平、関根咲彩、林瀬瑠奈、則次恒太、市川保恵、近藤恭光、小川健司、長田裕之、吉田稔、伊藤昭博
2. 発表標題 YAP-TEAD分子間相互作用を標的とした阻害剤スクリーニング
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 関根咲彩、高瀬翔平、林瀬瑠奈、則次恒太、市川保恵、近藤恭光、小川健司、長田裕之、吉田稔、伊藤昭博
2. 発表標題 YAP-TEAD間相互作用を標的とした低分子阻害剤の探索
3. 学会等名 第44回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷口幸穂、松浦佑大、小野裕司、土井由佳子、近藤恭光、本田香織、長田裕之、井上敬太郎、山口美穂、田代杏樹、青木俊介、福田亮介、沖米田司
2. 発表標題 CFTR関連ユビキチンリガーゼの阻害剤探索と治療的応用
3. 学会等名 日本薬学会第142年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 関根咲彩、高瀬翔平、林瀬瑠奈、則次恒太、黒川留美、市川保恵、近藤恭光、小川健司、松本健、長田裕之、吉田稔、伊藤昭博
2. 発表標題 YAP-TEADの分子間相互作用を標的とした阻害剤探索
3. 学会等名 日本薬学会第142年会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 松本健、黒川留美、吉田稔
2. 発表標題 ハイブシン化阻害剤 GC7 による細胞増殖抑制の標的経路の解析
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会 第15回年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田稔、西村慎一、八代田陽子
2. 発表標題 分裂酵母の分泌型シグナル分子を使った細胞間コミュニケーション
3. 学会等名 第23回酵母合同シンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田稔
2. 発表標題 生理活性天然物が教えてくれた真核生物の新しい遺伝子発現制御機構
3. 学会等名 日本農芸化学会2021年 度西日本・中四国・関西支部 合同大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田稔
2. 発表標題 ケミカルゲノミクスが牽引するがん研究と創薬
3. 学会等名 第80回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松本健、黒川留美、吉田稔
2. 発表標題 eIF5Aハイブシン化阻害剤GC7によるミトコンドリアタンパク質への影響
3. 学会等名 第94回日本生化学会大会シンポジウム 神秘の生命物質ポリアミンから探る生命現象と健康への応用
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木和樹、鈴木律裕、中尾 洋一、吉田 稔
2. 発表標題 HP1 クロモドメインを用いたFRET型蛍光プローブによる細胞分裂中のヒストン修飾動態の観察
3. 学会等名 第14回日本エピジェネティクス研究会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 吉田稔
2. 発表標題 天然物化学ゲノミクスによる真核生物セントラルドグマの制御機構解析
3. 学会等名 第14回日本エピジェネティクス研究会年会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木和樹、鈴木律裕、中尾 洋一、吉田 稔
2. 発表標題 細胞分裂過程におけるHP1 クロモドメインとヒストンH3の結合状態の経時観察
3. 学会等名 日本農芸化学会2021年度大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 橋本莉央、八代田陽子、大澤晋、平井剛、森山裕充、吉田 稔
2. 発表標題 分裂酵母のオキシリピンを介した窒素代謝に関わる細胞間コミュニケーションの解明
3. 学会等名 日本農芸化学会2021年度大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊藤孝、小林大貴、吉田稔
2. 発表標題 mTOR経路阻害でリー脳症モデルNdufs4 KOマウス寿命を延長する分子機構
3. 学会等名 J-mit 特別 オンラインシンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林大貴、畠山英之、伊藤孝、西村はる菜、横田睦美、鈴木禎史、苫米地由里、白水美香子、長田裕之、三牧正和、後藤雄一、吉田稔
2. 発表標題 機能低下したミトコンドリアを活性化させる化合物の発見とその応用
3. 学会等名 J-mit 特別 オンラインシンポジウム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ling Feng, Yoshida Minoru
2. 発表標題 A new paradigm of eukaryotic mitochondrial genetic inheritance revealed from studies on yeast mitochondrial DNA replication
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Chhipi Shrestha Jagat Krishna, Schneider-Poetsch Tilman, Suzuki Takehiro, Mito Mari, Khan Khalid, Dohmae Naoshi, Iwasaki Shintaro, Yoshida Minoru
2. 発表標題 Splicing modulators elicit global translational repression by condensate-prone proteins translated from introns
3. 学会等名 第43回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Discovery of a small molecule that rescues phenotypes of cells carrying disease- related mitochondrial DNA mutations by inducing metabolic redirection
3. 学会等名 Target 2035 a probe for every protein Kick-off webinar series (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高瀬翔平、長田裕之、吉田稔、伊藤昭博、
2. 発表標題 Hippo経路におけるYAP-TEAD相互作用を標的とした阻害剤探索
3. 学会等名 第24回日本がん分子標的治療学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高瀬翔平、高橋未帆、園田健、菊地正樹、近藤恭光、梅原崇史、長田裕之、吉田稔、伊藤昭博
2. 発表標題 エピジェネティクスリーダータンパク質GAS41の阻害剤探索
3. 学会等名 第93回日本生化学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八代田陽子、Lien Pham、Sheena Li、Urvi Bhojoo、吉村麻美、木村寛美、河村優美、長田裕之、松本健、吉田稔、Jason Moffat、Charles Boone
2. 発表標題 化合物の標的分子同定のためのケミカルゲノミクス基盤の確立
3. 学会等名 新学術領域研究「化学コミュニケーションのフロンティア」第7回公開シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Pradipta Ambara Rachmat, Ahmadi Peni, Tanaka Katsunori
2. 発表標題 Reactivity of Acrolein Released from Cancer Cells: Application for Selective Cancer Therapy and Diagnosis
3. 学会等名 日本化学会第101春季年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Pradipta Ambara Rachmat
2. 発表標題 Reactivity of Endogenous Acrolein: Application for Therapy and Diagnosis
3. 学会等名 新学術領域「ケモユビキチン」第4回総括班会議
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Pradipta Ambara Rachmat
2. 発表標題 Reactivity and Application of Acrolein Released from Cancer Cells
3. 学会等名 The 6th International Symposium on Applied Chemistry (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Pradipta Ambara Rachmat, Tanei Tomonori, Morimoto Koji, Shimazu Kenzo, Noguchi Shinzaburo, Tanaka Katsunori
2. 発表標題 がんが風編的に過剰生産するアクロレイン代謝物：ヒト生組織でのカスケード反応による乳がん術中迅速診断の臨床成果
3. 学会等名 第62回天然有機化合物討論会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤田健太郎、近藤恭光、本田香織、羽賀雄紀、長田裕之、松村千里、乾秀之
2. 発表標題 汚染物質輸送因子Major latex-like proteinの遺伝子発現と結合活性の制御によるウリ科作物汚染の低減化
3. 学会等名 日本農薬学会第46回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fujimoto Hayate, Kondoh Yasumitsu, Kawamura Tatsuro, Hase Sumitaka, Imoto Masaya, Osada Hiroyuki, Sakakibara Yasubumi
2. 発表標題 Comprehensive detection of RNA targets that bind to chemical compounds using next-generation sequencing and data-driven method.
3. 学会等名 RNA 2020 Meeting (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本 健、黒川 留美、Tariq Mohammad、Schneider-Poetsch Tilman、凌 楓、室井 誠、鈴木 健裕、堂前 直、伊藤 昭博、長田 裕之、吉田 稔
2. 発表標題 ハイブシン化阻害剤GC7のミトコンドリアへの影響
3. 学会等名 日本薬学会第140年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木 和樹、鈴木 律裕、中尾 洋一、吉田 稔
2. 発表標題 HP1 クロモドメインを用いた蛍光プローブによる細胞分裂中のクロマチン動態観察
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高瀬 翔平、林瀬 瑠奈、則次 恒太、市川 保恵、小川 健司、吉田 稔、伊藤 昭博
2. 発表標題 TEAD-YAP相互作用を標的とした化合物の探索
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋 匠、近藤 直子、白井 温子、ヒルバート マグバンタイ、松山 晃久、吉田 稔
2. 発表標題 翻訳因子 eIF5Aによる酵母の代謝調節機能の研究
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大澤 晋、八代田 陽子、吉田 稔
2. 発表標題 PAF複合体-SAGA複合体を介した窒素カタボライト抑制制御機構の解明
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三浦 俊一、八代田 陽子、西村 慎一、松山 晃久、吉田 稔
2. 発表標題 分裂酵母における栄養源感受性変異株の探索と解析
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 橋本 莉央、八代田 陽子、大澤 晋、平井 剛、森山 裕充、吉田 稔
2. 発表標題 分裂酵母の窒素シグナリング因子を介した細胞間コミュニケーションにおける受容機構の解明
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Junlin CHEN, Minoru YOSHIDA, Manabu ARIOKA
2. 発表標題 Autophagy deficiency boosts the production of kojic acid in the filamentous fungus <i>Aspergillus oryzae</i>
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大澤 晋、八代田 陽子、吉田 稔
2. 発表標題 PAF複合体-SAGA複合体を介した窒素カタボライト抑制制御機構の解明
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河村達郎、二村友史、Erchang Shang、室井誠、Petra Janning、上野雅佳、Julian Wilke、武田茂樹、近藤恭光、Slava Ziegler、渡辺信元、Herbert Waldmann、長田裕之
2. 発表標題 統合表現型プロファイリングとケミカルプロテオミクスの手法による3量体Giタンパク質調節化合物の発見
3. 学会等名 日本農芸化学会2020年度大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吉田 稔
2. 発表標題 天然物ケミカルバイオロジーによる新しい遺伝子発現制御機構の発見
3. 学会等名 日本農芸化学会四国支部第56回講演会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松本 健、黒川 留美、凌 楓、鈴木 健裕、堂前 直、吉田 稔
2. 発表標題 eIF5Aハイブシン化阻害剤GC7によるミトコンドリア制御
3. 学会等名 日本ポリアミン学会 第11回年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Opening new avenues of chemical biology by bioactive natural products
3. 学会等名 The 6th CSRS-ITbM Joint Workshop
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八代田陽子、吉村麻美、野口峻太郎、Sheena Li、木村寛美、河村優美、吉田稔、酒井隆一、Charles Boone
2. 発表標題 酵母ケミカルゲノミクス法を用いた化合物の標的同一
3. 学会等名 「化学コミュニケーションのフロンティア」第6回公開シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 A novel translational buffering system that links splicing and cancer
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会 Symposium on " Crossroad of Chemical and RNA Biology "
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本 健、黒川 留美、Tariq Mohammad、Schneider-Poetsch Tilman、凌 楓、室井 誠、鈴木 健裕、堂前 直、伊藤 昭博、長田 裕之、吉田 稔
2. 発表標題 eIF5Aハイブシン化阻害剤GC7によるミトコンドリアタンパク質の減少
3. 学会等名 第42回日本分子生物学会年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鷲塚 健一、白井 文幸、八代田 陽子、幸 瞳、丹羽 英明、佐藤 心、安倍 昌子、大貫 哲男、眞崎 唯、平間 千津子、深見 竹広、本間 光貴、梅原 崇史、白水 美香子、吉田 喜香、水谷 アンナ、村松 由紀子、清宮 啓之、吉田 稔、小山 裕雄
2. 発表標題 タンキラーゼ阻害剤の創薬研究(3)：新規ジヒドロキナゾリノン誘導体の創出
3. 学会等名 第37回メディシナルケミストリーシンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 白井 文幸、水谷 アンナ、八代田 陽子、津村 武史、狩野 ゆうこ、近田 翼、村松 由紀子、幸 瞳、丹羽 英明、佐藤 心、鷲塚 健一、甲田 泰子、眞崎 唯、張 明奎、永森 晶子、奥江 雅之、渡邊 尚志、北村 弘一、設楽 永紀、本間 光貴、梅原 崇史、白水 美香子、深見 竹広、清宮 啓之、吉田 稔、小山 裕雄
2. 発表標題 タンキラーゼ阻害剤の創薬研究(2) : 経口投与で抗腫瘍効果を示すスピロインドリノン誘導体RK582 の創製
3. 学会等名 第37回メディシナルケミストリーシンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 甲田 泰子、白井 文幸、水谷 アンナ、八代田 陽子、津村 武史、狩野 ゆうこ、近田 翼、村松 由紀子、幸 瞳、丹羽 英明、佐藤 心、吉田 喜香、眞崎 唯、鷲塚 健一、奥江 雅之、渡邊 尚志、北村 弘一、設楽 永紀、本間 光貴、梅原 崇史、白水 美香子、深見 竹広、清宮 啓之、吉田 稔、小山 裕雄
2. 発表標題 タンキラーゼ阻害剤の創薬研究(1) : 細胞増殖阻害活性改善を指向した誘導体合成
3. 学会等名 第37回メディシナルケミストリーシンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石倉菜摘、前本佑樹、青木元秀、橘高敦史、上杉志成、吉田稔、伊藤昭博
2. 発表標題 内因性脂質代謝物N-アシルドーパミンによるHIF-1 活性化機構
3. 学会等名 第24回化学生物学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Opening new drug discovery frontiers through natural products chemical genetics
3. 学会等名 8th annual conference of International Chemical Biology Society (ICBS-2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ken Matsumoto, Shohei Takase, Rumi Kurokawa, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Target pathway identification of bioactive compounds by multifaceted approaches
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuki Sasaki, Michihiro Suzuki, Akihiro Ito, Yoichi Nakao, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Development of fluorescent probes for visualizing an interaction between intra-nucleosomal histone H3 K9 tri-methylation and HP1 chromodomain and live-cell imaging
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shin Ohsawa, Yoko Yahiroda, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Chemical and genetic regulation of nitrogen catabolite repression by PAF complex in the fission yeast Schizosaccharomyces
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akihisa Matsuyama, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Development of NanoBiT-based 2- and 3-hybrid system in fission yeast
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shinichi Nishimura, Akifumi Suganaga, Akihisa Matsuyama, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Comprehensive analysis of the mechanism of action of theonellamides, marine-derived antifungals, based on fission yeast ORFeome
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Kobayashi, Hiroyuki Osada, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Identification of a novel compound that alters energy metabolism
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Mechanism of action of anticancer splicing modulators - Translational buffering linking splicing and cancer
3. 学会等名 2019 Cold Spring Harbor Asia Conference on Chemical Biology and Drug Discovery (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tilman Schneider-Poetsch, Jagat Shrestha, Shintaro Iwasaki, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Translation factor eIF5A connects protein synthesis and energy metabolism
3. 学会等名 The 10th Korea-Japan Chemical Biology Symposium and 30th Meeting for New Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroki Kobayashi, Hiroyuki Osada, Minoru Yoshida
2. 発表標題 A novel compound that alters energy metabolism
3. 学会等名 The 10th Korea-Japan Chemical Biology Symposium and 30th Meeting for New Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林大貴、長田 裕之、吉田 稔
2. 発表標題 ワールブルグ効果制御物質の発見
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Translational buffering linking splicing and cancer
3. 学会等名 RIKEN-Max Planck Joint Research Center for Systems Chemical Biology The 7th Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Norio Kudo, Akihiro Ito, Mayumi Arata, Akiko Nakata, Seiji Matsuoka, Daria Monaldi, Manfred Jung, Minoru Yoshida
2. 発表標題 Conversion of SIRT2 catalytic activity from deacetylase to defatty-acylase by fatty-acyl substrates
3. 学会等名 FASEB Conference on The Reversible Protein Acetylation in Health and Disease (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Fatty acyl metabolites as intrinsic inhibitors of SIRT2 deacetylase
3. 学会等名 FASEB Conference on The Reversible Protein Acetylation in Health and Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 稔
2. 発表標題 分裂酵母同士も「化合物」を使ってコミュニケーションする
3. 学会等名 微生物ウイーク2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shin Ohsawa, Yoko Yashiroda, Minoru Yoshida
2. 発表標題 PAF complex regulates the cancelation of nitrogen catabolite repression
3. 学会等名 10th International Fission Yeast Meeting (Pombe meeting 2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田健太郎、近藤恭光、本田香織、羽賀雄紀、長田裕之、松村千里、乾秀之
2. 発表標題 ウリ科作物の新規汚染低減化法の開発
3. 学会等名 神戸大学研究基盤センター若手フロンティア研究会 2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田健太郎、近藤恭光、本田香織、羽賀雄紀、長田裕之、松村千里、乾秀之
2. 発表標題 汚染物質輸送因子の遺伝子発現と結合活性制御によるウリ科作物における作物汚染の低減化
3. 学会等名 第37回農薬環境科学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 由田和津子、近藤恭光、岩橋福松、中野雄司、本田香織、永野栄喜、長田裕之
2. 発表標題 受容体特異的な3-alkyl ABAを用いたアブシジン酸受容体機能解析
3. 学会等名 植物化学調節学会第54回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kentaro Fujita, Yasumitsu Kondoh, Kaori Honda, Hiroyuki Osada, Hideyuki Inui
2. 発表標題 Reduction of pop contamination in Cucurbitaceae family focusing on the transporting factors for POPs by the treatment of pesticides
3. 学会等名 39th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants: DioXin 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nobuaki Ishihama, Yoshiteru Noutoshi, Seung-won Choi, Ivana Saska, Shuta Asai, Kaori Takizawa, Yasumitsu Kondoh, Yuko Nomura, Hirofumi Nakagami, Hiroyuki Osada, Ken Shirasu
2. 発表標題 Identification and characterization of small-molecular compounds that inhibit salicylic acid-mediated signaling pathway in Arabidopsis
3. 学会等名 IS-MPMI XVIII Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuko Yoshida, Yasumitsu Kondoh, Fukumatsu Iwahashi, Takeshi Nakano, Kaori Honda, Eiki Nagano, Hiroyuki Osada.
2. 発表標題 Selective activation of abscisic acid receptors by 3'-alkyl ABAs
3. 学会等名 Chemical Probe Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta
2. 発表標題 Acrolein Click Chemistry-Mediated Cancer Diagnosis
3. 学会等名 令和元年度基礎科学特別研究員成果発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Peni Ahmadi, Motoko Fujii, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Reactivity of Acrolein Released from Cancer Cells: Application for Selective Cancer Therapy
3. 学会等名 日本化学会第100春季年会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta
2. 発表標題 新規UbTACsのためのリガンド化合物探索とキメラ化法開発
3. 学会等名 新学術領域「ケモユビキチン」第3回総括班会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Motoko Fujii, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Synthetic Chemistry for Clinical Trials: Azide-Acrolein Click Reaction for Intraoperative Diagnosis of Breast Cancer Patients
3. 学会等名 RIKEN-Max Planck Joint Research Center for Systems Chemical Biology the Seventh Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吉田 稔
2. 発表標題 エネルギー代謝のケミカルバイオロジー
3. 学会等名 産学協力研究委員会 第170委員会・第189委員会合同シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吉田 稔
2. 発表標題 天然活性物質の作用機序研究から見えてきたもの
3. 学会等名 第5回生命科学セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Minoru Yoshida
2. 発表標題 Power of chemical genetics to uncover eukaryotic gene expression and metabolism
3. 学会等名 A3 Lecture (JSPS日中韓フォーサイト事業 (A3事業)) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Tomonori Tanei, Motoko Fujii, Koji Morimoto, Shinzaburo Noguchi, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 実臨床合成化学：乳癌の術中断端迅速診断
3. 学会等名 日本化学会第99春季年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 実臨床合成化学：乳癌の術中断端迅速診断
3. 学会等名 第1回新学術「ケモユピキチン」班会議・第2回ユピキチン研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Acrolein Sensor for Rapid Intraoperative Diagnosis of Breast Cancer
3. 学会等名 The All-RIKEN Workshop 2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Acrolein Click Chemistry-Mediated Cancer Imaging and Treatment
3. 学会等名 GlycoTOKYO2018シンポジウム (東京糖鎖研究会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Synthetic Chemistry for Clinical Trials: Azide-Acrolein Click Reaction for Intraoperative Diagnosis of Breast Cancer Patients
3. 学会等名 The 14th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Motoko Fujii, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Clinical Organic Synthesis: Rapid Intraoperative Diagnosis of Breast Cancer
3. 学会等名 日本化学会新領域研究グループ「有機合成化学を起点とするものづくり戦略」最終研究成果発表シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Acrolein Click Chemistry-Mediated Cancer Imaging and Treatment
3. 学会等名 ケミカルブローブ合同合宿セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Tomonori Tanei, Motoko Fujii, Koji Morimoto, Shinzaburo Noguchi, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 実臨床合成化学：乳癌の術中断端迅速診断
3. 学会等名 第12回バイオ関連化学シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 Acrolein Click Chemistry-Mediated Cancer Imaging and Treatment
3. 学会等名 The 54th International Conference on Medicinal Chemistry: Interfacing Chemical Biology and Drug Discovery (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta
2. 発表標題 Acrolein Click Chemistry-Mediated Oxidative Stress Imaging and Theranostics
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会, Asian International Symposium (Medicinal Chemistry) (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ambara Rachmat Pradipta, Motoko Fujii, Sayaka Urano, Tsuyoshi Tahara, Satoshi Nozaki, Yasuyoshi. Watanabe, Katsunori Tanaka
2. 発表標題 アクロレインのインピボクリック反応性に基づく生体内合成化学治療
3. 学会等名 日本化学会第98春季年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 由田和津子、近藤恭光、岩橋福松、中野雄司、本田香織、永野栄喜、長田裕之
2. 発表標題 受容体特異的な3'-alkyl ABAを用いたABA受容体機能解析 1. 構造活性相関
3. 学会等名 日本農芸化学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤恭光、由田和津子、岩橋福松、中野雄司、本田香織、永野栄喜、長田裕之
2. 発表標題 受容体特異的な3'-alkyl ABAを用いたABA受容体機能解析 2. ドッキングシミュレーション
3. 学会等名 日本農芸化学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河村 達郎、二村 友史、室井 誠、川谷 誠、SHANG Erchang、JANNING Petra、近藤 恭光、野川 俊彦、ZIEGLER Slava、渡辺 信元、WALDMANN Herbert、長田 裕之
2. 発表標題 がん細胞に活性酸素種産生を誘導する化合物RKN9055の発見と作用解析
3. 学会等名 日本農芸化学会2019年度大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岩本 直也、周敬棠、本田香織、近藤恭光、長田裕之、井貫晋輔、大野浩章、藤井信孝、大石真也
2. 発表標題 XIAP BIR3ドメインの化学合成と鏡像スクリーニングへの応用
3. 学会等名 日本薬学会第139年会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田健太郎、近藤恭光、本田香織、羽賀雄紀、長田裕之、松村千里、乾秀之
2. 発表標題 汚染物質輸送因子の結合活性制御に着目したウリ科作物の汚染低減化
3. 学会等名 日本農薬学会第44回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kruthi Suvarna, Kaori Honda, Makoto Muroi, Yasumitsu Kondoh, Hiroyuki Osada, Nobumoto Watanabe
2. 発表標題 Target identification of a small-molecule that inhibits cancer cell-accelerated fibroblast migration
3. 学会等名 The 5th CSRS-ITbM Joint Workshop
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長島俊太、丸山順一、岩佐宏晃、有本-松崎京子、本田 香織、近藤恭光、長田裕之、名和眞希子、石上-湯浅磨里、影近弘之、中浜健一、仁科博史、畑裕
2. 発表標題 ケミカルバイオロジーからアプローチしたTAZの新しい制御機構の解析
3. 学会等名 MBSJ日本分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kruthi Suvarna, Kaori Honda, Makoto Muroi, Yasumitsu Kondoh, Hiroyuki Osada, Nobumoto Watanabe
2. 発表標題 A small-molecule ligand of VCP inhibits accelerated fibroblast migration by cancer cells
3. 学会等名 MBSJ日本分子生物学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 前川琴美、田中翔太、竹野駿、山上あゆみ、笈 雄介、嶋田幸久、近藤恭光、堂前 直、嶋田勢津子、松井 南、久城哲夫、長田裕之、浅見忠男、篠崎一雄、中野雄司
2. 発表標題 植物成長促進化合物PPGによる植物カルス形成制御機構の解明
3. 学会等名 第53回植物化学調節学会年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石濱伸明, 能年義輝, 崔 勝媛, Ivana Saska, 浅井秀太, 瀧澤 香, 野村有子, 中神弘史, 近藤恭光, 長田裕之, 白須 賢
2. 発表標題 植物免疫阻害剤を用いた植物免疫応答制御因子の探索
3. 学会等名 平成30年度日本植物病理学会関東部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujita K, Sakai A, Kondoh Y, Honda K, Osada H, Inui H
2. 発表標題 Reduction of crop contamination resulting from hydrophobic contaminants by the treatment of pesticides targeting to its transport factors
3. 学会等名 38th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants & 10th International PCB Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本 健、高瀬翔平、近藤恭光、鈴木健裕、堂前直、新家一男、長田裕之、久城哲夫、吉田稔
2. 発表標題 JBIR-140 の細胞増殖抑制機構の解析
3. 学会等名 日本ケミカルバイオロジー学会第13回年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田健太郎、酒井葵衣、近藤恭光、本田香織、長田裕之、乾秀之
2. 発表標題 高脂溶性汚染物質によって引き起こされる作物汚染の化合物輸送因子を標的とした農業による低減化
3. 学会等名 日本農業学会第43回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松永 耕一、牛込剛史、近藤恭光、本田香織、長田裕之、泉 哲郎
2. 発表標題 新規インスリン分泌促進化合物の分子機構の解明
3. 学会等名 第61回日本糖尿病学会年次学術集会
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>イントロン由来の異常タンパク質が与えるストレス https://www.riken.jp/press/2021/20210914_1/index.html</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	P R A D I P T A A M B A R A (Pradipta Ambara) (90631648)	東京工業大学・物質理工学院・助教 (12608)	
研究分担者	川谷 誠 (Kawatani Makoto) (50391925)	国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター・専任研究員 (82401)	
研究分担者	近藤 恭光 (Kondo Yasumitsu) (80333342)	国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター・専任研究員 (82401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------